

# 朝来市景況調査書

平成 28 年 上半期

(調査対象：平成 28 年 4 月～6 月)

朝来市商工会

平成 28 年 7 月

## ○本調査書作成の目的

朝来市内事業者が主要商圏とする朝来市地域、但馬地域、及び兵庫県内の経済動向を調査し、市内の業種別産業構造を把握することで、効果的な将来予測、及び経営計画の策定等に繋げる目的とします。

## ○本調査書の作成方法

朝来市商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に、他の調査や情報とも比較して調査書を作成します。

## ○『D.I.』について

D. I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、  
 $\frac{\text{「良い」}20\% - \text{「悪い」}30\%}{100\%} = -10\%$   
となり、D. I. 値は-10 ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10 件	20%
不変	25 件	50%
悪い	15 件	30%
合計	50 件	100%

## ○参考とする調査書と有効回答数について

本調査書の作成にあたり、株式会社みなと銀行が四半期毎に実施する「兵庫県内中小企業の景況調査（1～3 月期）」、および但馬信用金庫が四半期毎に実施する「但馬管内の景気動向調査（1～3 月期）」の調査結果を参照しています。

(対象期間における有効回答数)

	建設業	製造業	小売業	サービス業
兵庫県内中小企業の景況調査 (株みなと銀行)	191 件	337 件	84 件	103 件
但馬管内の景気動向調査 (但馬信用金庫)	56 件	51 件	46 件	58 件
朝来市景況調査書 (朝来市商工会)	38 件	32 件	44 件	64 件

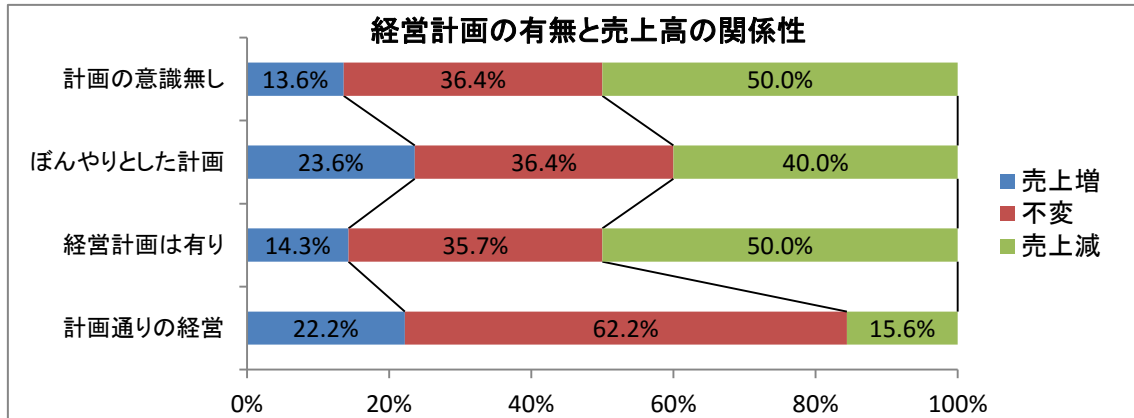
## ○業種の分類について

景況調査書の記入をお願いしていた段階では、業種をこまかく分類していましたが、本調査書では、卸売業は「小売業」として、飲食・宿泊業は「サービス業」として集計していますので、ご注意ください。

## ◎共通質問事項

### ○「経営計画」の有無と「売上高」の関係性について

事業の持続的発展（現状維持+@）のため、また融資や補助金申請においては経営計画の策定が必要不可欠です。その重要性や効果を測るために、調査項目を設定し、回答をいただきました。集計の結果は下表のとおりです。



経営計画を意識せずに事業を実施している事業者（44件）の半数は、昨年度と比較して売上が減少しているとお答えいただきました。また、経営計画を持つものの、計画通りに行動を起こせていない事業者（42件）も多く、半数は売上が減少しているとの回答を得ています。

一番大きく差が出ている点は、計画通りに事業を実施できている事業者（45件）による売上減少という回答が少ない点です。この結果から、経営計画を持ち行動を起こしていくということは、リスク回避にも繋がっていくとも考えられます。また、売上が減少してしまった場合にも、その原因にたどり着きやすく、早期の改善に繋げることができるのではないかと考えます。

### ○経営上の問題点を教えてください

	建設業	件数	製造業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	従業員の確保難	17件	需要の停滞	14件	ニーズの変化	22件	ニーズの変化	29件
2位	技術者の確保難	17件	人件費の増加	10件	需要の停滞	19件	仕入単価の上昇	23件
3位	需要の停滞	15件	ニーズの変化	9件	競争の激化	15件	需要の停滞	18件

業種ごとに件数が大きく割れています。しかしながら、「**需要の停滞**」については、全ての業種において問題点として多く見られます。また、類似する項目として「**ニーズの変化**」も見られます。時代の変化とともに、ニーズや動向を捉えていきながら、新たな販路を開拓していく必要性を感じます。

## 1. 建設業（有効調査書数：38件）

○昨年（4～6月）と比較して、今期の業況はいかがですか？

	件数	構成比
好転	5件	13.2%
不変	23件	60.5%
悪化	10件	26.3%

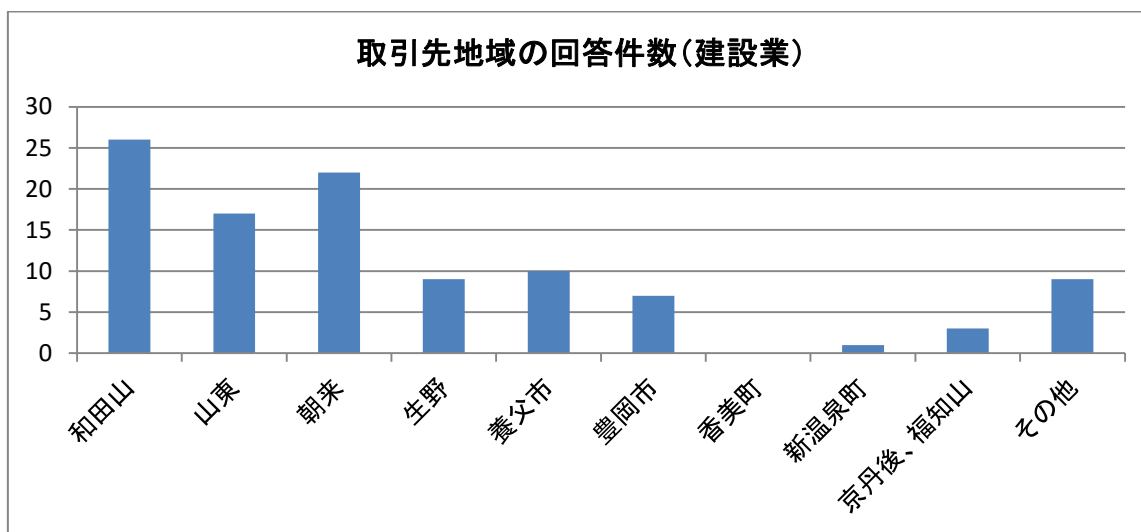
割合としては、「不変」とお答えいただいた事業者が最も多かったものの、「悪化」とお答えいただいた事業者が「好転」より多く、景況判断値は『▲13.1ポイント』となりました。

地域	D. I.
兵庫県※ (みなと銀行)	▲8.4ポイント
但馬地域※ (但馬信用金庫)	▲16.1ポイント
朝来市	▲13.1ポイント

建設業のD. I.を地域別に比較すると、兵庫県での数値は朝来市よりも良い数値になっています。その反面で但馬地域では、大口工事の減少などの原因から、朝来市よりも悪い数値になっています。

※兵庫県、及び但馬は見通しのD. I.値を示しています。

○貴社の取引が多い地域はどちらですか？（複数回答あり）



詳細はグラフのとおりですが、朝来市を商圏とする事業所が多く、合計で71件が朝来市内とお答えいただきました。近隣地域として養父市、豊岡市での取引を持つ事業所も少なくはありませんでした。その他という回答も9件で、兵庫県南部や大阪、中国地方と、但馬の枠にとどまらず事業範囲を広がられています。

## 2. 製造業（有効調査書数：32件）

○昨年（4～6月）と比較して、今期の業況はいかがですか？

	件数	構成比
好転	4件	12.5%
不変	16件	50.0%
悪化	12件	37.5%

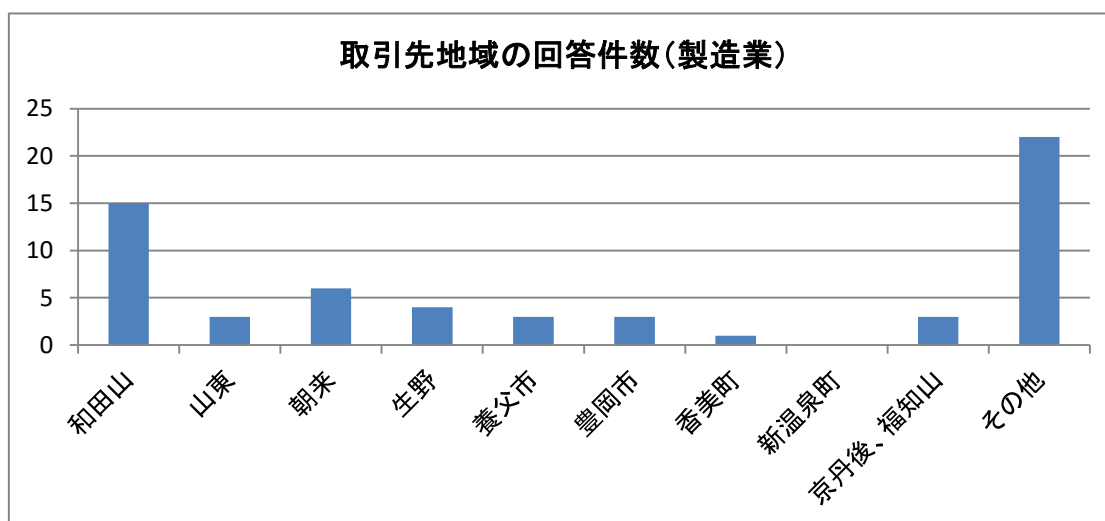
割合としては、「不変」とお答えいただいた事業者が最も多かったものの、「悪化」とお答えいただいた事業者が「好転」より大幅に多く、景況判断値は『▲25.0ポイント』となりました。

地域	D. I.
兵庫県※ （みなと銀行）	▲4.5ポイント
但馬地域※ （但馬信用金庫）	7.8ポイント
朝来市	▲25.0ポイント

但馬地域の D. I. はプラス値である反面、県・朝来市ともにマイナス値であり、特に朝来市の D. I 値は悪い数値となりました。

※兵庫県、及び但馬は見通しの D. I. 値を示しています。

○貴社の取引が多い地域はどちらですか？（複数回答あり）



全回答の内、25件は但馬外との取引を持っているとの回答を得ました。回答の内容を見ると、近畿圏内にとどまらず、関東から九州まで広範囲に及んでいます。一方で和田山の15件、朝来の6件をはじめ、市内での取引を持つ事業所も少なくはありません。

### 3. 小売業（有効調査書数：44件）

○昨年（4～6月）と比較して、今期の業況はいかがですか？

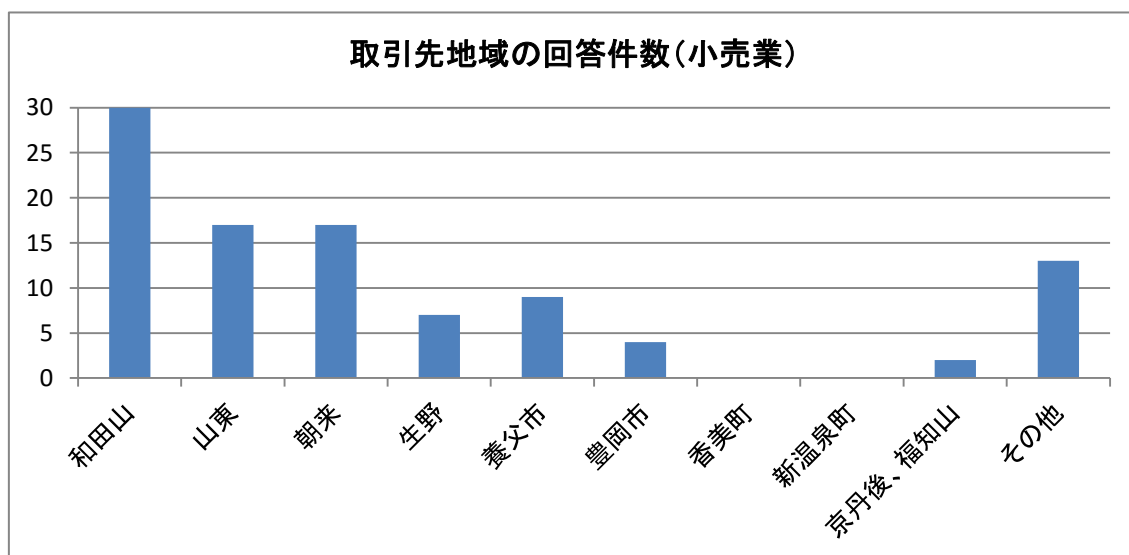
	件数	構成比
好転	5件	11.4%
不変	21件	47.7%
悪化	18件	40.9%

割合としては、「不変」とお答えいただいた事業者が最も多かったものの、「悪化」とお答えいただいた事業者が「好転」より大幅に多く、景況判断値は『▲29.5ポイント』となりました。

地域	D. I.
兵庫県※ （みなと銀行）	▲14.3ポイント
但馬地域※ （但馬信用金庫）	▲41.3ポイント
朝来市	▲29.5ポイント

全ての地域において最も悪いD. I. 値を示しているのが小売業となっています。特に但馬の数値は前年と比較しても悪化しており、改善が見られない状況となっています。その反面、兵庫県では若干の改善傾向にあります。※兵庫県、及び但馬は見通しのD. I. 値を示しています。

○貴社の取引が多い地域はどちらですか？（複数回答あり）



朝来市を商圈とする事業所が多く、合計で71件が朝来市内とお答えいただきました。近隣地域として養父市、豊岡市での取引を持つ事業所も少なくはありませんでした。その他という回答も13件、京阪神とお答えいただいた回答が3件ありました。その他、東京という回答も寄せられました。

#### 4. サービス業（有効調査書数：64件）

○昨年（4～6月）と比較して、今期の業況はいかがですか？

	件数	構成比
好転	15件	23.4%
不変	27件	42.2%
悪化	22件	34.4%

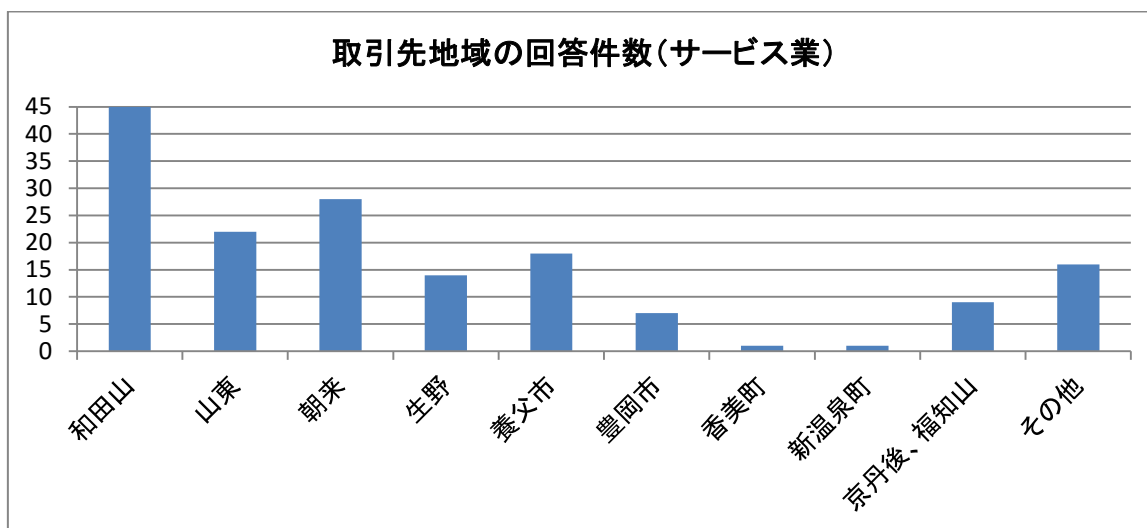
割合としては、「不変」とお答えいただいた事業者が最も多かったものの、「悪化」とお答えいただいた事業者が「好転」より多く、景況判断値は『▲11.0ポイント』となりました。

地域	D. I.
兵庫県※ （みなと銀行）	7.8ポイント
但馬地域※ （但馬信用金庫）	▲22.4ポイント
朝来市	▲11.0ポイント

兵庫県と朝来市において、最も良いD. I. 値を示しているのがサービス業です。反面、但馬地域では、小売業に次いで2番目に悪い値を示しています。

※兵庫県、及び但馬は見通しのD. I. 値を示しています。

○貴社の取引が多い地域はどちらですか？（複数回答あり）



朝来市を商圏とする事業所が多く、合計で109件が朝来市内とお答えいただきました。近隣地域として養父市、豊岡市での取引を持つ事業所も少なくはありませんでした。宿泊業も含んでいるため、観光客や工事関係者の利用があるという回答もありました。

## ○後書き

このたび、朝来市に焦点をあてた景況調査書を作成いたしました。調査書の回答にご協力いただきました方につきましては、誠にありがとうございました。

一般的な調査書の内容は数字や文字の羅列が多かったり、調査対象が国全体や県全体であったりすることから、自社や地域には関係ないという考えに繋がり、どうしても敬遠してしまいがちでありました。当調査書は一般的な景況調査書と比較して内容が浅く、回答いただいた内容の全てを集計することはできませんでしたが、当調査書をきっかけに、集計された結果を少しずつでも目にさせていただくことで、景況調査書の存在やその意義を感じていただくことができると考えています。

今後も調査を継続していくことで、より実態に伴った調査書の作成、また市内事業所の経営にお力添えできるようなものへと発展させることができると考えています。当取り組みに対するご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

### (参考文献)

「兵庫県内中小企業の景況調査 (1～3 月期)」・・・株式会社みなと銀行  
「但馬管内の景気動向調査 (1～3 月期)」・・・但馬信用金庫

### 「朝来市景況調査書」についてのお問い合わせ先

朝来市商工会 経営支援課

〒669-5201 朝来市和田山町和田山 404

電話：079-672-2362 FAX：079-672-4844

URL：<http://www.asago.org/> メール：shokokai@asago.org